

1 はじめに

学習指導要領の改訂のキーワードは、基礎的・基本的な知識・技能，習得・活用・探究，思考力・判断力・表現力の育成，学習意欲の向上等々であるが，改善事項の冒頭に「言語活動の充実」が位置付けられている。すなわち，言語活動の充実とは，各教科等を貫く重要な改善の視点と示されている。この言語活動の充実こそ，国語単元学習の最も大事にしているところである。学習者尊重の視点に立ち，子ども一人一人の言語活動の向上を図ることを目的とした一連の言語活動を組織し，展開していくことが単元学習であり，私たちはそこを目指して授業を展開していかなければならない。説明文は低学年においては苦手分野でもあり，今までは教師主導型で学習を進めがちであった。そうなるとうちでも子どもたちは受動的にならざるを得ず，指導はしたけれど読むことの力が付いていないということが多々あった。そこで，子どもたちが目的意識をもって，自ら進んで学習を展開していけるような指導計画及び指導の工夫が大切であると考え，本主題を設定した。

2 研究の仮説

- (1) 身に付けさせたい力を子どもたちにも明確に意識させることで，目的意識をもって学習に取り組むであろう。
- (2) 言語活動に必要な能力を育てる学習過程の工夫をすれば，子どもたちの興味・関心を高め，学習の目的を構築しながら学習に取り組むであろう。
- (3) 視聴覚教材を活用することによって，用語の意味を理解したり場面の様子をイメージしたりすることが容易になり，確実な読みにつながるであろう。

3 実践事例

(1) 学習指導案

1 単元名 「どうぶつのひみつクイズ」を作ろう (教材「ビーバーの大工事」)

2 目 標

- (1) 動物の生態に興味をもって進んで本を読んで調べようとする。 (国語への関心・意欲・態度)
- (2) 大事な言葉や書かれている事柄の順序に気を付けて，内容の大体を読むことができる (読むこと イ)
- (3) 教材文や図鑑等に書かれていることを正しく読み取り，大事な言葉や文を書き抜いて動物クイズを作ったり解いたりすることができる。 (読むこと エ)
- (4) 読み取った情報をもとにクイズの問題を考えて，分かりやすく書くことができる。 (書くこと ウ)
- (5) 文の中における主語と述語をはっきりさせてクイズを作ることができる。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 指導にあたって

本単元の第1時を学習した後に調査した結果が次のとおりである。 (平成25年11月6日実施 2年1組30人調べ)

- 1 知っている ことばには ○を，知らない ことばには ×を つけましょう。 (知らないと答えた児童数)
- ① のみ (20人) ② 水かき (1人) ③ オール (3人) ④ かじ (をとる) (12人) ⑤ おもし (7人)
- ⑥ せき止める (8人) ⑦ ダム (8人) ⑧ みずうみ (2人) ⑨ 上あご (3人) ⑩ 下あご (3人)

- 2 ビーバーの すは、どんなものを つみ上げて 作りますか。(自由記述)
木と石とどろ(28人) 石とどろ(1人) 木と石とどろとみずうみ(1人)
- 3 ビーバーは、すを 作る 前に まず、何を 作りますか。(自由記述)
ダム(27人) ダムとみずうみ(1人) みずうみ(1人) 木をたおす(1人)
- 4 ビーバーが、すを 作るようすを 読んで、すごいなあと思うことを 書きましょう。(複数回答)
- ・すごい速さで幹の周りが50cm以上もある木をかじって倒す。(18人) ・歯が丈夫(15人) ・水の中に長くもぐれる(11人)
 - ・高さ2m 長さ450mもの大きなダムをつくる(8人) ・家族でつくる(5人) ・木や枝を持って泳ぐ(5人)
 - ・家をつくる(3人) ・力が強い、しっぽの形、夕方から夜まで働く(各1人ずつ)

上記の結果から、児童には馴染みのない用語がたくさん出てくるため、場面の様子をイメージしにくいと思われる。そのため、できるだけ具体物を使ったり、用語の説明をしたりしながら学習を進めていく必要があると考えた。初発の感想で、ほとんどの児童がビーバーの歯や泳ぎ、ダムや巣作りの素晴らしさに気付くことができていた。しかし、用語に対する理解が不十分なため、巣作りの順序や巣作りに必要なものの読み取りがいまいな児童も見られる。

本単元は、2年生になってから二つ目の説明文である。以前に学習した「たんぼぼ」では、「説明されていることと挿絵、写真を正しく結び付けて読み取る」「段落ごとに説明されている内容と自分の身近にあるたんぼぼを比べ、実感しながら読み取る」ことに重点を置いて指導した。そして、単元を貫く言語活動を「たんぼぼクイズを作ろう」というクイズ作りを設定した。児童は、クイズを作るために何度も教材を読み返し、問いと答えの文を探し、書き抜いていた。これらの活動を繰り返し行うことによって、たんぼぼについて深く理解するとともに、身の周りに咲いているたんぼぼと教材に書かれているたんぼぼを比較するまでになった。単なる国語の読み取りで終わるのではなく、科学の目も育ったことが大きな収穫であった。

本教材は、ビーバーの巣作りを例として挙げ、ビーバーの体の特徴やダム作りについて、大事な言葉や事柄の順序に気を付けて正しく読む取ることをねらう説明文である。木を切って川へ運ぶビーバー、ダム作りをするビーバー、湖の中に巣をつくるビーバーの知恵の、三つの意味段落で構成されている。

児童の実態から、まず、意味が分からない言葉を洗い出し、絵や図、写真、挿絵、実物、模型、動画等を活用してビーバーの体の特徴やダム、家作りについてのイメージが容易にもてるよう支援する。さらに、クイズ作りを行うということを明確にしておくことで、児童の教材文の読み取りへの興味を高めるようにする。そして、読み取りの第一段階として教師が作成したクイズを解き、第二段階としては、自分でクイズ作りをすることで教材文に積極的に関われる場面を意図的に設定した。繰り返し読み込むことで、より深く内容を読み取ることができるだろうと考えたからである。なお、最終目標である「どうぶつのひみつクイズ」作成にスムーズに入れるよう、児童に本の準備を呼びかけるとともに、事前に図書館から『動物』の本を借りておき、並行読書ができるように配慮した。

4 指導計画(11時間扱い)

次	時	主な学習活動・内容	評価の観点
1	1	・教材文を読んだ後、「ビーバーの大工事」と動物図鑑の中から出題されたクイズを解き、「自分の好きな動物を調べて、クイズを作る」という見通しをもつ。	・「ビーバーの大工事」に関心をもって読み、「どうぶつのひみつクイズ」を作ろうとする意欲をもっている。 (関心・意欲・態度)(発表、ノート)
2	1 ・ 2	・教師の作成した問題を解き、教材文に書かれていることの大体を読み取る。	・問題文の大事な言葉に着目して、教材文を読み取り、正しく書き抜いている。 (読むこと)(ワークシート)

2	3	・ワークシートの答え合わせをしながら、大事な言葉や書かれている順序について正しく読み取る。	・ビーバーの体の特徴や行動，巣ができるまでの順序などを読み取り，説明している。 (読むこと)(発表，ワークシート，ノート)
3	① 本時 2	・教材文をもとに，「ビーバーのひみつクイズ」を作る。	・文章から読み取れることを問題とし，主述の整った文章が書けている。 (読むこと・書くこと)(観察・ワークシート)
	3	・グループでお互いに作ったクイズを読み合い，クイズの内容や答えについて話し合う。	・クイズの答えになる部分を教材文から見つけ出し，正しく書き抜いている。 (読むこと)(ワークシート，発表，観察)
4	1 ・ 2	・図鑑をもとに，自分の好きな動物について調べ，「どうぶつのひみつクイズ」を作る。	・文章から読み取れることを問題とし，主述の整った文章が書けている。 (読むこと・書くこと)(観察・ワークシート)
	3 ・ 4	・グループでお互いに作ったクイズを読み合い，クイズの内容や答えについて話し合う。	・クイズの答えになる部分を図鑑から見つけ出し，正しく書き抜いている。 (読むこと)(ワークシート，発表，観察)

5 本時の指導

(1) 目 標

- ・教材文を正しく読み取り，「ビーバーのひみつクイズ」の問題と答えを書くことができる。

(2) 準備・資料 ・参考作品（クイズの問題と答えのワークシート）・ワークシート ・掛図

(3) 展 開

学 習 活 動 ・ 内 容	教師の支援（・全体※個別●基礎・基本◎評価）
1 本時の学習課題を知る。 教科書を読んで，「ビーバーのひみつクイズ」を作ろう。 2 クイズの作り方を知る。 (1) 問題を作る。 ・何は 何が ～ですか。 の形で書く。 ・答えが『はい』『いいえ』だけで終わるのではなく，文章で答えられるものにする。 ・大事な言葉＝何回も出てくる言葉に注目し，できるだけその言葉を使った問題を作る。 (2) 答えを作る。 ・答えを書くだけでなく，書いてある場所を明記する。 ○ページ 3 各自，クイズを作る。 (予想されるクイズ) ・ビーバーはどこにすんでいますか。 ・じょうぶな水かきがあるのは，どの足ですか。 ・ビーバーのすとダムは何で作られていますか。 ・ビーバーはどうしてダムを作るのでしょうか。	・前時までに解いた教師版ビーバークイズを参考に，自分たちもビーバークイズを作ることを確認する。 ・参考作品を基に，具体的に書き方を説明する。 ・主語と述語の学習はまだしていないので，何が，何はで始まり，文末は疑問形で終わることを話す。 ・回答者が教科書を読み，文章で答えられるような問題が望ましいことを伝える。 ・何回も出てくる言葉（ダム，木，石，どろ，歯，す等）を一斉に確認し，大事な言葉であることを理解させ，できるだけ出題するようにする。 ・教科書に出ている漢字や習った漢字は使うよう話す。 ・答えの根拠を明らかにする。 ・クイズの問題として選んだ文には，青でサイドラインを引くようにする。 ・答えの文には，赤でサイドラインを引くようにする。 ※戸惑っている児童には，書きたい場所を尋ね，鉛筆で薄く印をつける。

・ビーバーはすとダムどちらから作るでしょうか。 4 クイズを発表する。 5 学習の振り返りをする。 ・ビーバーについて分かったことを発表する。 (体の特徴、行動、生態、ダムや巣作りなど) 6 次時の学習活動を知る。 「ビーバーのひみつクイズ」をもっと作ろう。	●一文書けたら、指さし確認をしながら声に出して読み、正しい表記ができるようにする。 ※文章を書くのが苦手なA子、T男、S男には、話を聞き、声に出して言わせるようにする。そして足りない言葉があれば教師が補うような支援を行う。 ・書き終わったら、2問目、3問目とどんどん作ってよいことを話す。 ◎教科書の中の大事な言葉や文を用いて問題作りをしているか。(ワークシート、観察) ◎問題と答えが正しく呼応しているか。(ワークシート) ・本時では一人の出題者に対して、クラス全員が回答者となって答えを考えるようにする。 ・発表者は、答えが教科書のどこに書いてあるか話すようにする。 ・分かったことをもとに、もっとたくさん「ビーバークイズ」を作ることを話し、意欲を高める。
---	--

4 研究の結果

(1) 仮説1について

単元で身に付けさせたい力を明確にした年間指導計画(マトリックス表)から指導事項を確認した。この単元では、読むことのイ → 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと、読むことのエ → 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことである。これらを身に付けさせるためには、児童が進んで取り組むであろう、「どうぶつのひみつクイズを作ろう」が最適であると考え、単元構想を行った。

まずは、教科書の見出し部分にある学習過程を児童と共に読み合った。ここでは、**読む力**を付けるための学習をするのだということ、そして、読む力を付けるためには、①大事な言葉を探しながら読み取ること②順序に気を付けて読み取ることが大切だということを話した。さらに、

本を 読んで しりたい ことを見つかる 力を みに つけよう



どこに 何が 書いて あるか たしかめながら、「ビーバーの 大工事」を 読む。

どうぶつの ひみつを 図書館の 本で しらべて、クイズを 作る。

みに つけた 読む 力を 生かして、本から クイズの こたえを さがす。

という学習の流れを分かり易く説明することによって、ゴールを見据えた取り組みになった。教材文の読み取りの中でも折に触れて問いの文の例を示したので、クイズ作りのイメージはかなりできていた。実際、

児童から「いつクイズを作るの?」と聞かれることが多く、意欲が高まっていたことが分かる。クイズ作りをする前から「先生、〇〇はどうして△△なのでしょう?」などと問題を出してくる児童もいた。そして、いざクイズ作りが始まるとどの児童も意気揚々と書き始める姿が見られた。

(2) 仮説 2 について

第 4 次の学習活動にスムーズにつなげるために、第 2 次では、教師が作成したクイズ形式の問題（資料 1）を解くという活動、第 3 次では、自分でビーバーについてのクイズを作り、お互いに答えを書くという活動（資料 2）を設定することによって螺旋的に反復学習を行うことになり、大事な文や言葉を使ってまとめるという言語操作ができるようになっていった。

学習開始と同時に、記念図書館から「動物」の本を 4 0 冊程度借り、教室に置いていつでも読めるようにしておいた。（隔週ごとの朝の読書タイムや週 1 回の読書の時間等を利用した）また、家に図鑑がある人は持ってきてほしい旨を週案に載せて協力をお願いしたところ、進んで調べたい動物の本を持ってくる児童が何人もいた。並行読書をすることによって自然にビーバーと自分が調べている動物との比較をしたり、初めて知った動物の秘密について熱心に話してくれたりするなど、クラス全体が学習に向かって盛り上がることができた。

資料 1

☆教科書を読んで、ビーバークイズにこたえましょう。（問題のみ掲載）

①ビーバーは、どの国のどなところにすんでいますか。

②ビーバーは、何をかじりますか。

③その時、どんな音がしますか。

④ビーバーは、上あごと下あごをどのようにつかって木をかじるのですか。

⑤ビーバーの歯は、どのようになっていますか。また、何ににいていますか。

⑥ドシンドシーン。とは何の音ですか。

⑦ビーバーは、切りたおした木をどうやって川の方へはこびますか。

⑧ビーバーの後ろ足は、どのようになっていますか。

⑨ビーバーの後ろ足は、どんなやくわりをしますか。

⑩ビーバーのおはどんな形をしていますか。

⑪ビーバーのおはどんなやくわりをしますか。

⑫ダムを作る時につかうもののじゅん番を書きましょう。

⑬（ ）どころ（ ）木（ ）小えだ（ ）石

⑬ビーバーは、どれくらい水の中にいられますか。

⑭ビーバーがしごとをするのはいつですか。

⑮つみ上げられた木と石とで、何ができますか。

⑯今までに見つかったビーバーのダムで、いちばん大きなダムの大きさはどれくらいですか。

⑰ダムができあがると、その内がわに何ができますか。

⑱ビーバーは、どこにすを作りますか。

⑲ビーバーのすは、どのように見えますか。

⑳すの入り口は、どこにありますか。

㉑1 ビーバーは、なぜそこに入り口を作のですか。

㉒2 ビーバーがダムを作るのはなぜですか。

㉓23 ビーバーは、どんなじゅんじよですを作りますか。番ごを書きましょう。

（ ）ダムができ、水がせき止められると、その内がわにみずうみができる。

（ ）みずうみのまん中にすを作。

（ ）木と石とでダムを作る。

（ ）木をするとい歯で切りたおす。

ビーバーの後ろ足

※絵をかく

ビーバーのお

※絵をかく

○ 本の名前

○ こたえる人

○ クイズの番

○ こたえ

ページの ページ

の ひみつ クイズ

○ もんだい

○ だい

○ もん

切りたおした木を、ヤシにみじかくかみ切るこ、どっへひきずていきますか。

○ 本の名前

○ こたえる人

○ クイズの番

○ こたえ

ページの ページ

の ひみつ クイズ

○ もんだい

○ だい

○ もん

川の方にひきずっていきま

○ 本の名前

○ こたえる人

○ クイズの番

○ こたえ

ページの ページ

の ひみつ クイズ

○ もんだい

○ だい

○ もん

ビーバーは、なせ水の中に
入口をつくろうとしようか。

○ 本の名前

○ こたえる人

○ クイズの番

○ こたえ

ページの ページ

の ひみつ クイズ

○ もんだい

○ だい

○ もん

およぎのじょうずな
どうぶつしか入れない
ようになっている。

○ 本の名前

○ こたえる人

○ クイズの番

○ こたえ

ページの ページ

の ひみつ クイズ

○ もんだい

○ だい

○ もん

ビーバーのすのり口は、何にあ
りますか。

○ 本の名前

○ こたえる人

○ クイズの番

○ こたえ

ページの ページ

の ひみつ クイズ

○ もんだい

○ だい

○ もん

二つ。

問題

答え

○ 本の 名前

オカピ

の ひみつ クイズ

○ きたえる人

○ クイズの番こう

○ きたえ

○ もんだい

○ さんの だい

5 もん

オカピは何のなかまでし
う。

ページ

49 ページ

○ 本の 名前

子どもカラー図かん

の ひみつ クイズ

○ きたえる人

○ クイズの番こう

○ きたえ

○ もんだい

○ さんの だい

5 もん

オカピ

の ひみつ クイズ

かいとうようし

ページ

49 ページ

○ 本の 名前

ハリネズミ

の ひみつ クイズ

○ きたえる人

○ クイズの番こう

○ きたえ

○ もんだい

○ さんの だい

3 もん

ハリネズミはどうやってみを
まもるでしょうか。

ページ

69 ページ

○ 本の 名前

しいくとがんせつ

の ひみつ クイズ

○ きたえる人

○ クイズの番こう

○ きたえ

○ もんだい

○ さんの だい

3 もん

ハリネズミ

の ひみつ クイズ

かいとうようし

ページ

69 ページ

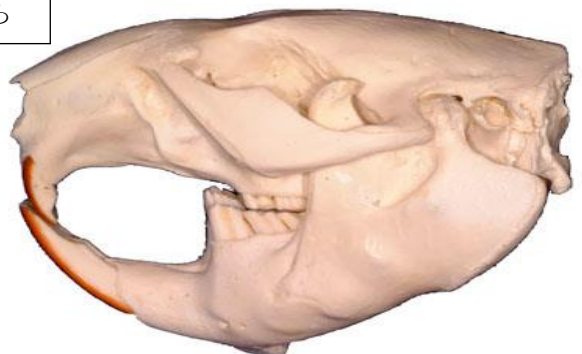
(3) 仮説3について

○写真の提示（ビーバーの歯は鋭く、丈夫であることへの理解）

前面から



側面から



下の歯の方が大きく、
がっしりしている
ことが分かる。

下あごが発達している
ことが分かる。

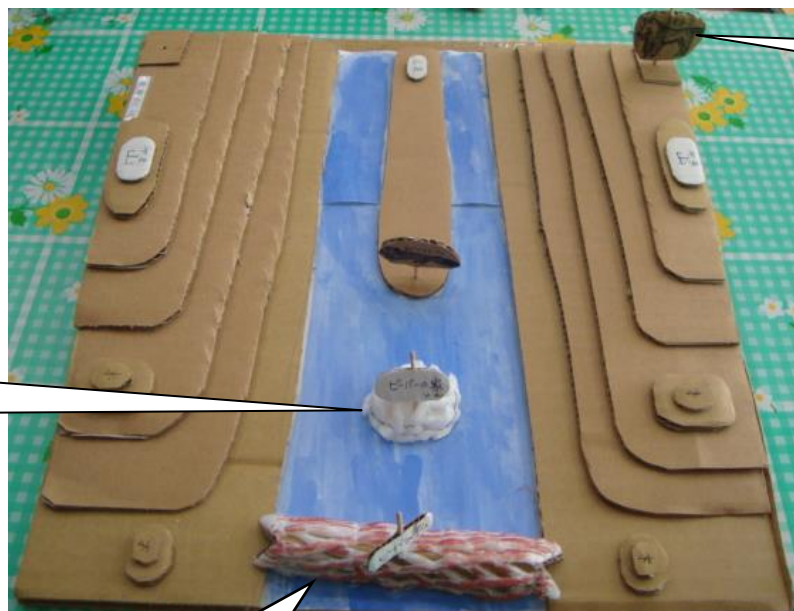
○のみの提示（現物を見せ、使い方を実演した。）



○掛図の活用（巣を作る順序の確認）

○ダムとビーバーの巣の模型の活用（ダムの仕組みの理解）

※理科室のおじさんに依頼し、作っていただいた。



オオカミ

傾斜がついている。

ビーバーの巣
(取り外し可能)

ダ ム (取り外し可能)



○ 動画&歌の視聴（ビーバーの生態の理解）

ビーバーのダム

歌 栗原 正己

つくる つくる つくる ビーバーは ダムつくる かじる かじる たおす こまかくして はこぶ
どろと えだで かためる 水を せき止める かじる かじる たおす ときどき ごはんたべる
川を せき止めて 池 つくる 池の中に 家がある 家の 入り口は 水の中 オオカミも コヨーテも入れない

万が一を かんがえて 出入り口は 二かしょ 中は とても かいてき 空気とおす あなもある
生まれながらの けんちくか ネズミの なかま げっしるい
夜 活どうする 夜行せい ダムが こわれれば すぐ直す ビーバー およぎが とくい りく上では ノロノロ
ビーバー ビーバー がんばる ビーバー こうして 生きる ビーバー こうして がんばる

文字だけでは細かい部分までの理解が難しいが、『見て、聞いて、触って』という活動を取り入れることによって、ぐっと教材文への理解が深まった。



友達が作った問題の答えを
本から探して書く。



5 成果と課題

○これらの手立てにより、目標の（１）（２）（３）（４）については、クラス全員がＡまたはＢ評価を得ることができた。学習後の市販テストでは、１００点が２１人、９９点・９８点（誤字脱字は減点している）が６人、９０点が３人だった。誤答は、「水の上にかんだしま」と答えるところを「水の上にかんだ」と、『しま』を抜かしたものであった。日頃テストに集中できないＡ子も１００点をとることができた。Ａ子が夢中になって取り組めたのは、教材への興味・関心の高さ、そして、読み取りへの自信からではないだろうか。

もともと読書好き、動物好きな子どもたちなので、教材や単元計画が実態に合っていたので取り組み易かったと言える。読み取る時には必ずサイドラインを引き、指で指して確かめながら答えを書くという方法も大分習慣化されている。それに伴って叙述に沿って正確に読み取ろうという意識も出てきた。

教材研究をする中で、私自身がビーバーのもつ能力の素晴らしさに驚き、感動した。読むほどに面白さが分かり、子どもたちと共に楽しく学習に取り組むことができた。

●「どうぶつのひみつクイズ」では、動物図鑑から出題したため、体の特徴についての問題がほとんどであった。予め、動物の子育ての仕方や成長の過程、巣作りなど文章化されたものを教師側で用意し、それを読み取って出題するようにすれば、順序に気を付けて読み取る力もねらうことができたのではないかと思う。『読み取る力が身に付いた』ということは、別の教材に出会った時でも自分一人の力で解決できることだと考える。日頃の学習より大事な言葉や文に気を付けて読むこと、叙述に沿って正しく読むことの指導を繰り返して行っていきたい。

<参考文献>

- ・小学校学習指導要領 国語編 文部科学省
- ・豊かな言語活動が拓く 国語単元学習の創造 III 小学校低学年編 日本国語教育学会
- ・『小学校国語科 言語活動 パーフェクトガイド』 1・2年 水戸部修治編著 明治図書
- ・遠野市立遠野小学校 研究発表会資料